

帯柏葉 × 士別翔雲 白樺 × 釧路湖陵 江陵 × 網走桂陽

旭川スタルヒンで15日開幕

十勝代表3校 甲子園へ闘志

夏の高校野球 北北海道大会



初戦の相手が決まり、互いに健闘を誓い合う（左から）白樺学園・橋本球道主将、帯柏葉・岡田一步主将、江陵・相馬裕樹選手

【旭川】15日に旭川スタルヒン球場で開幕する高校野球の第98回全国選手権大会北・北海道大会（道高校野球連盟など主催）の組み

旭川は15日に旭川スタルヒン球場で開幕する高校野球の第98回全国選手権大会北・北海道大会（道高校野球連盟など主催）の組み

旭川	15金 12:00	帯柏葉	18金 8:00
旭川	15金 14:30	士別翔雲	20金 10:30
帯柏葉	16金 9:00	釧路湖陵	16金 11:30
士別翔雲	18金 10:30	白樺学園	16金 11:30
釧路湖陵	21金 13:00	白樺学園	16金 11:30
白樺学園	16金 14:00	白樺学園	17金 9:00
白樺学園	18金 13:00	白樺学園	20金 13:00
白樺学園	17金 9:00	白樺学園	17金 11:30
白樺学園	18金 15:30	白樺学園	15金 9:30
白樺学園	17金 14:00	白樺学園	17金 14:00

「第1試合はありがたい」
白樺・橋本主将
○…4度目の甲子園出場を目指す白樺学園の初戦の相手は、3年ぶり36回目出場の釧路湖陵。橋本球道主

将(3年)は「第1試合なのでグラウンド状態が良いのはうれしい。相手がどこであろうと守りからリズムをつくる自分たちの野球を貫く」と表情を引き締めた。白樺学園は昨年の秋季道大会8強、今年の春季道大会4強とチーム力は高いレベルで安定している。今大会も優勝候補の筆頭と目され、エースで強打の橋本主将を中心に攻守のバランスの良さは頭一つ抜け出ていると評される。

開幕戦当て「全力で戦おう」
江陵・相馬選手
○…江陵の谷本献悟監督は校務のため、古谷優人主将(3年)は風邪で抽選会に來れなかった。代わりに責任教師の西田つばさ教諭、相馬裕樹選手(同)、西原昌吾選手(同)の3人が訪れ、相馬選手が開幕戦を引き当てる。西田教諭は「オープニングゲームを戦えて光栄」と力を込めた。

式後の開幕戦(午前9時半開始予定)で1回戦から登場し、網走桂陽(北見)と対戦。67年ぶりの甲子園出場を目指す帯柏葉(2年連続21回目)は同日の第3試合(午後2時半同)の2回戦で士別翔雲(名寄)と戦い、2年連続で甲子園出場を狙う白樺学園(3年連続16回目)は16日の第1試合(午前9時同)で、釧路湖陵(釧根)との2回戦を戦う。開会式の選手宣誓は、クラーク記念国際(空知)の阿部勇斗主将(3年)が行う。6支部の代表17校が出場。19日に休養日が設けられ、20日に準決勝、21日に決勝が行われる予定。優勝校は8月7日に阪神甲子園球場で開幕する全国選手権に出場する。(内形勝也)

初戦の相手網走桂陽は、2年ぶり8回目の出場。北見支部予選では2試合14得点と猛打が爆発、代表決定戦では北見商に4-0と完封勝利した。相馬選手は「優勝するには5試合を戦わなければならない厳しい枠に入ったが、全力で戦った」と決意を語った。